

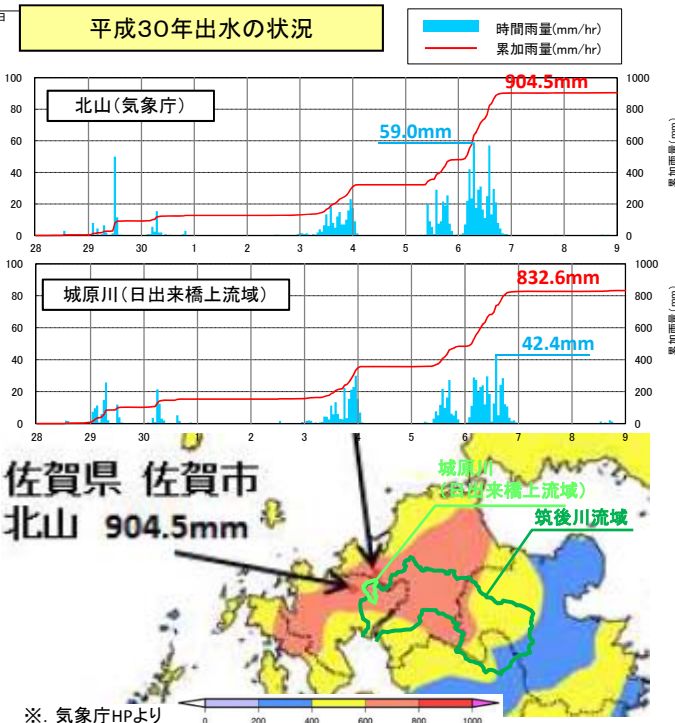
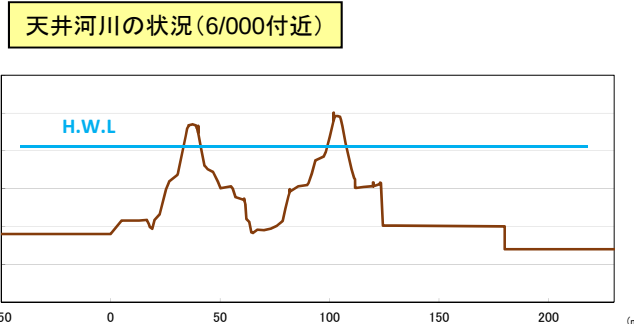
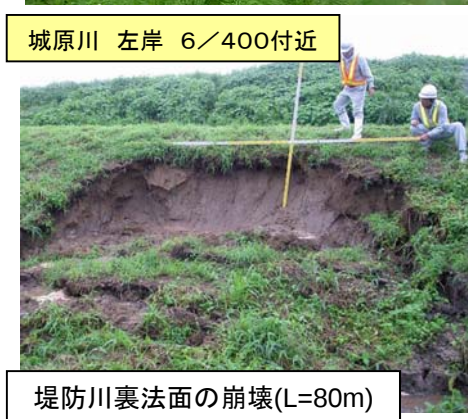
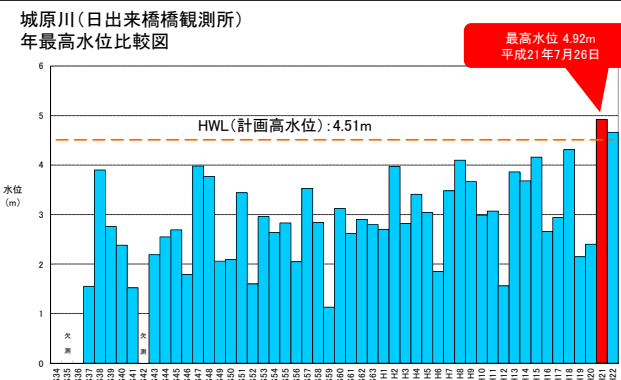
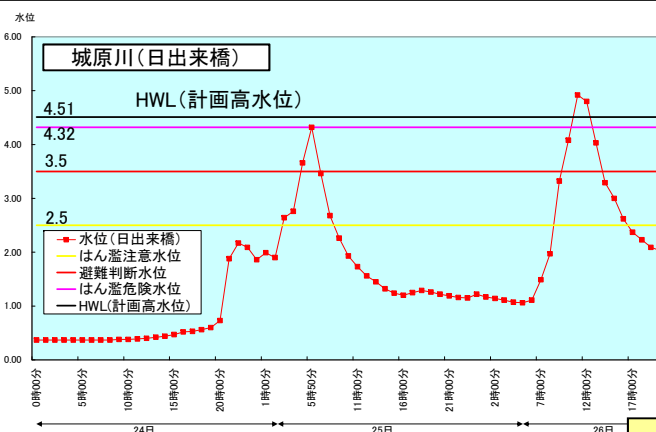
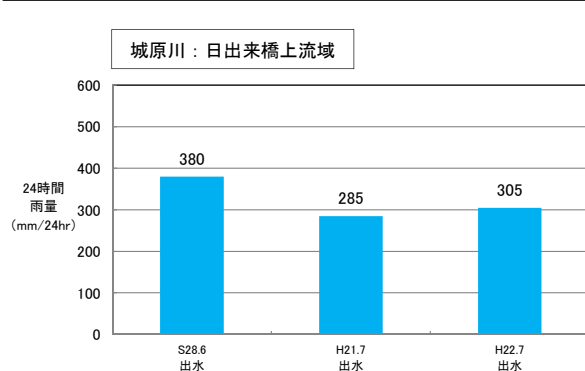
近年の出水状況を踏まえた対応について

～ 第6回筑後川学識者懇談会 ～

令和元年 6月25日
国土交通省 九州地方整備局
筑後川河川事務所

平成21年7月出水における城原川の状況について

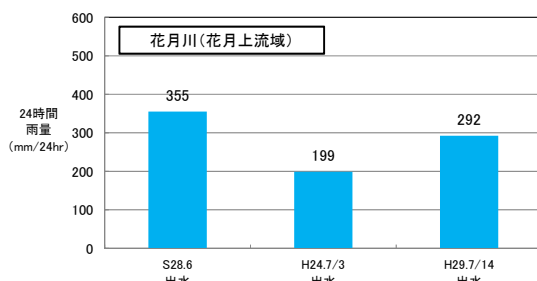
- 平成21年7月豪雨では福岡県から佐賀県において、記録的な降雨を観測。
- 日出来橋水位観測所では、計画高水位を41cm超える観測史上最高水位（T.P. 4.92m）を記録。
- 城原川左岸6k400付近において、漏水に伴う堤防川裏法面の崩壊が発生。
- また、上流野越しでは、5箇所にて越流が発生。



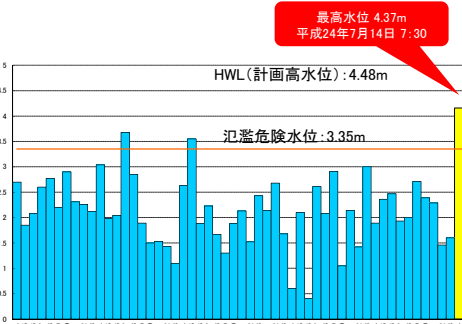
平成24年7月出水における筑後川の状況について

- 平成24年7月豪雨では、大分県西部、福岡県筑後南部を中心に局地的な短時間豪雨を記録。花月川、巨瀬川、隈上川では、堤防決壊等により甚大な被害が発生。
- 平成24年7月豪雨を踏まえ、花月川では激甚災害対策特別緊急事業を実施。また、巨瀬川、隈上川では、集中的な治水対策を実施。

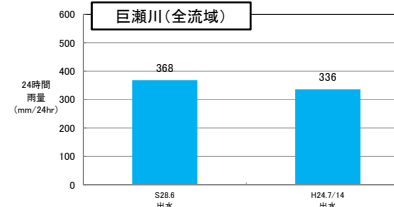
花月川の被災状況



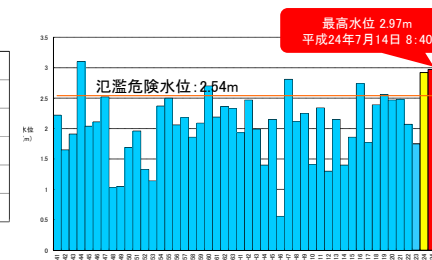
花月川(花月観測所)における年最高水位比較図



巨瀬川の被災状況



巨瀬川(中央観測所)における年最高水位比較図

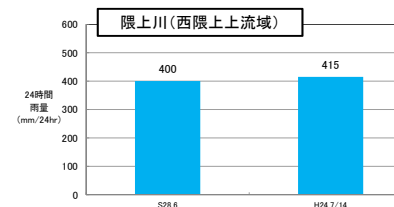


高島橋付近

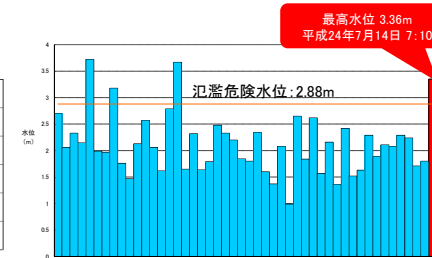


中央橋下流

隈上川の被災状況



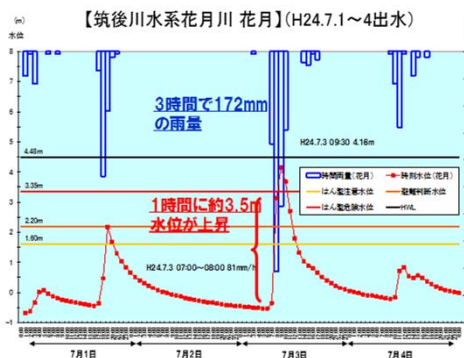
隈上川(西隈上観測所)における年最高水位比較図



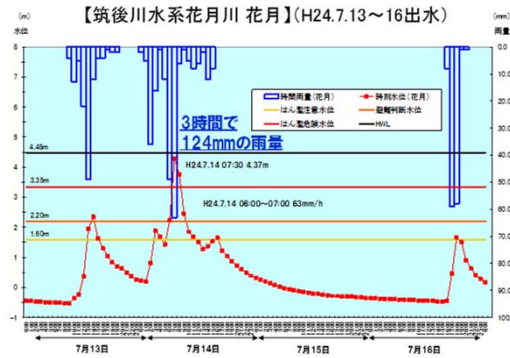
下御所橋



今川橋上流



川沿いの家屋が倒壊し流失 坂本橋上流右岸

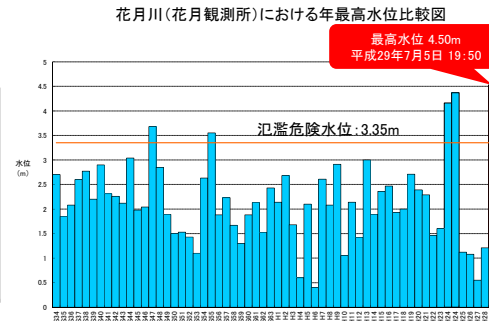
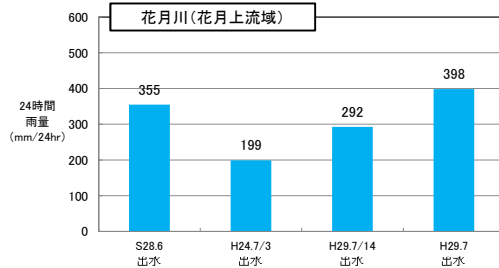


夕田橋 流木によるせき上げ 花月川4k600

平成29年7月出水における筑後川の状況について

- 平成29年7月豪雨は福岡県朝倉市から大分県日田市北部の多くの観測所において観測史上1位の雨量を記録。小石原川から花月川までの筑後川右岸流域において甚大な被害が発生。
- 花月川では、平成24年に観測した史上最高水位を再度更新。
- また、佐田川は寺内ダムの利水容量に空きがあったため被害は小さかったが、治水容量のみでは被害が発生していた恐れ。

花月川の浸水被害



国管理区間の被害状況			H24. 7/3 洪水	H29. 7/5 洪水
浸水区域面積			ha	
家屋被害	床上浸水	戸	414	282
	床下浸水	戸	306	562

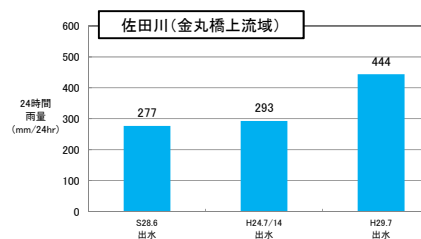


花月川左岸3k800付近

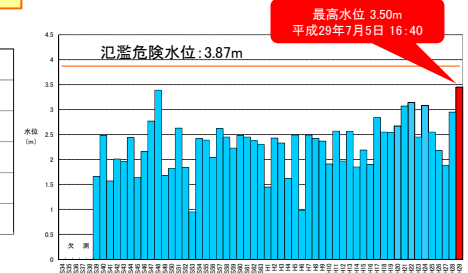


花月川右岸7k600付近

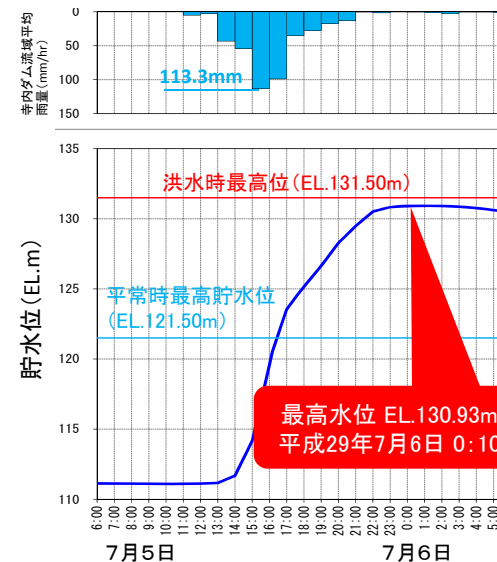
佐田川(寺内ダムの貯留状況)



佐田川(金丸橋観測所)における年最高水位比較図



佐田川寺内ダム貯水位ハイドロ図



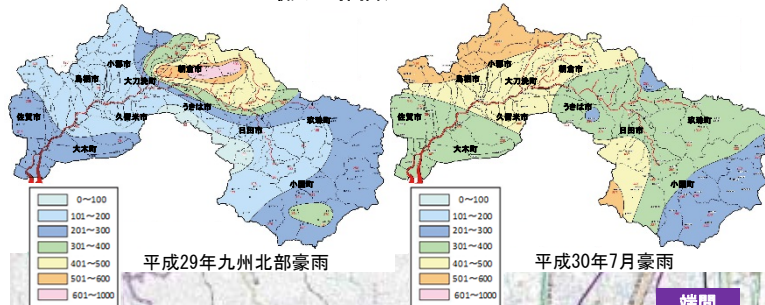
佐田川 金丸橋(2k600)付近

平成30年7月出水における筑後川の状況について

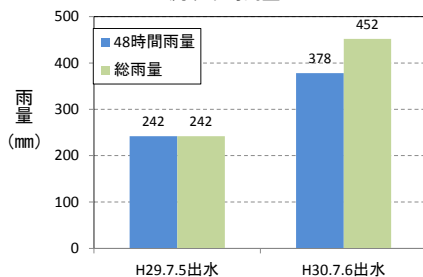
- 平成30年7月出水は、平成29年の狭い範囲での局地的な豪雨とは異なり、流域の広い範囲で高強度の降雨を観測。
- 久留米市周辺の4支川（宝満川、巨瀬川、小石原川、佐田川）で観測史上最高水位を記録。
- 平成30年7月豪雨を踏まえ、久留米市周辺の内水河川において浸水被害最小となる総合的な対策メニューを検討中。

H30豪雨による久留米市周辺の浸水状況

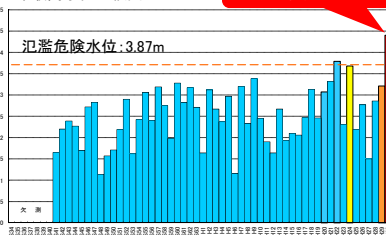
最大48時間降雨の等雨量線図



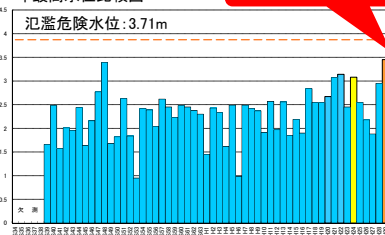
流域平均雨量



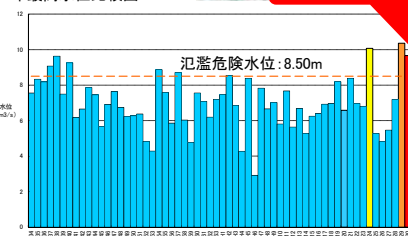
小石原川(栄田橋観測所)
年最高水位比較図



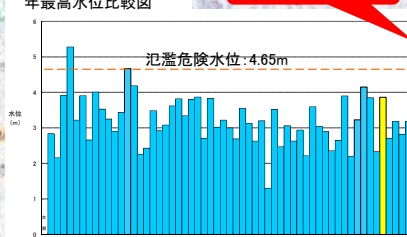
佐田川(金丸橋観測所)
年最高水位比較図



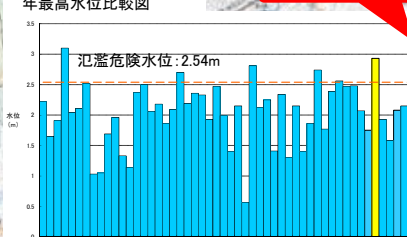
筑後川(片ノ瀬観測所)
年最高水位比較図



宝満川(端間観測所)
年最高水位比較図



巨瀬川(中央橋観測所)
年最高水位比較図



佐田川左岸2K000付近 川裏 噴砂状況



筑後川 →
久留米市城島町付近の浸水

平成29年7月出水への対応について

■平成29年7月豪雨を踏まえ、花月川においては平成30年3月に河川整備計画を見直し洪水調節施設を調査・検討中。

＜整備計画の主な変更内容＞

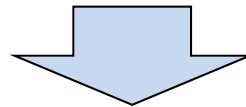
- ・花月川の整備目標流量を計画高水流量規模の1,200m³/sに変更し、掘削や河道拡幅等により対応。
- ・花月川において、新たな洪水調節施設の整備に向けた調査・検討を整備計画に位置付け。



今後の方針

近年出水の状況について

- 平成21年7月豪雨では、局地的な短時間豪雨により、城原川において甚大な浸水被害が発生。
- 平成24年7月九州北部豪雨では、局地的な短時間豪雨により、花月川、巨瀬川、隈上川において甚大な浸水被害が発生。
- 平成29年7月九州北部豪雨では、局所的な集中豪雨により、花月川や筑後川右岸流域の赤谷川等で甚大な被害が発生。
- 平成30年7月豪雨では、流域内の広範囲における中・長時間降雨により、宝満川、巨瀬川、小石原川、佐田川で観測史上最高水位を記録。また、筑後川本支川水位の上昇により、久留米市周辺の県管理河川で内水被害が発生。



今後の治水計画について

- 支川において計画規模を大幅に上回る降雨が頻発するなどの近年の降雨状況や、被災状況を踏まえ、整備計画に記載されている整備の目標や内容について見直しの必要性の点検を行う。